

介護



介護とは、加齢や病気などによって日常生活を営むことが困難な人に対して、家事、歩行、排せつ、入浴などを通じて、身体的、精神的にも尊厳ある自立した生活が送れるように支援をすることです。また、介護保険サービスは、基本的に65歳以上の方が要介護認定または要支援認定を受けたときに利用できるものです。一般的には「介護」と聞くと、「親が高齢になったとき」をイメージする方が多いかもしれません。では、実際に介護の現状はどのようなになっているのかを見ていきましょう。

高齢化の現状

厚生労働省は15日、2025年（令和7年）国民生活基礎調査の概況を公表しました。高齢者世帯が全世帯の3割を超え、児童のいる世帯は2年前の18.3%から16.7%へ低下し、少子高齢化の進行を改めて示す結果となりました。

2025年の総世帯数は5,505万8,000世帯でした。このうち、65歳以上の者がいる世帯は2,761万4,000世帯となり、全世帯の50.2%を占めています。高齢者のいる世帯が半数を超え、日本の世帯構成における高齢化が一段と進んだことを示しています。

介護のきっかけ

現在の要介護度別に介護が必要となった主な原因では、「認知症」が16.7%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」15.6%、「骨折・転倒」14.6%、「脳血管疾患（脳卒中）」12.5%、「関節疾患」9.1%、「心疾患（心筋梗塞）」4.8%、「悪性新生物（がん）」と「パーキンソン病」がともに3.0%、「糖尿病」2.9%などとなりました。

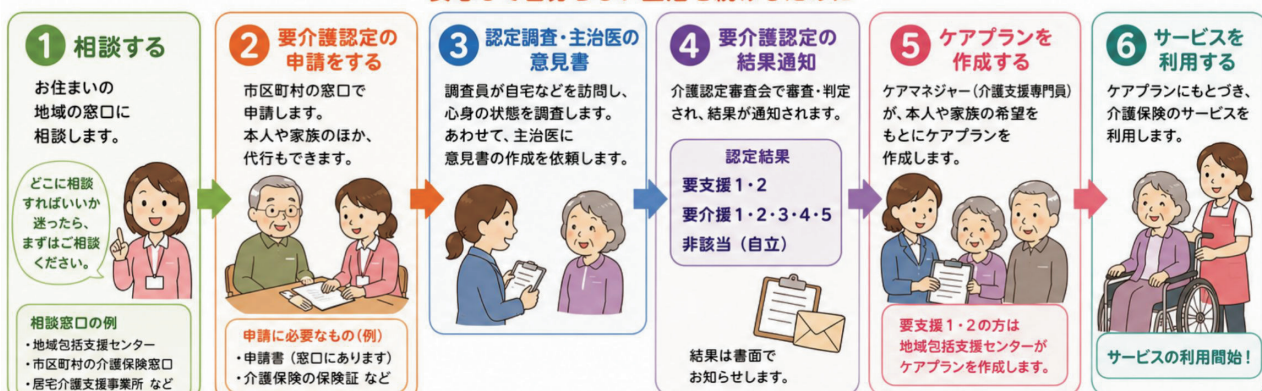
要介護5では「脳血管疾患」が27.6%で最も高く、「認知症」が23.8%でした。一方、要介護1では「認知症」が24.2%、「高齢による衰弱」が18.8%、「骨折・転倒」が14.5%となりました。

介護サービス

介護保険によるサービスを利用するには、まず、市区町村の窓口で要介護認定（要支援認定）の申請を行います。その後、調査などを経て要介護度が決定・認定されたら、サービス計画書（ケアプラン）を作成し、それにもとづいて介護サービスの利用が始まるのが一般的です。

介護保険サービスを利用するまでの流れ

～安心して自分らしい生活を続けるために～



お元気で
すか？

9月



坂出市
愛育会